

平成29年度春季マスターズ委員会会議録

日時 平成29年6月15日(木)13:00~16:00

場所 東京都 岸記念体育館 5F 504 会議室

出席者 富田政利委員長、蛭沢克仁副委員長、玉川映一(北海道)、高坂寿(青森県)、入澤茂(群馬県)、板倉裕木治(長野県)、村瀬孝幸(愛知県)、今村正直(高知県)、欠席者 葦崎新太郎
第42回全日本マスターズ大会事務局担当者
(北海道小樽市 青山勝小樽スキー連盟会長、佐藤徳造同副会長)
SAJ データバンク(中原良平)
オブザーバ:福田俊介(東京都)

協議事項要旨

1 2016/2017シーズンの反省について

- (1) 全国マスターズ安比大会において、インスペクションが大変混み合い、高齢な選手の中には危険な思いをされた方もいた。次回開催地で改善を図りたい
- (2) AグループとBグループのミニマムの付け方について、整合性が適正か、来シーズンに向けて検討が必要

2 第42回全日本マスターズスキー選手権小樽大会について(青山会長)

(1) 日程について(決定)

平成30年3月9日(金)から11日(日)までとする。9日は開会式、競技は10日から11日までの2日間

(2) 要項全般等(案)

- ・組織委員について、SAJ マスターズ委員会からは玉川映一委員
- ・TD はアルペンが次回開催地、クロスカントリーは技術委員から。(ただし、CX は同時期に宮様大会があり TD 確保が難しい。その際は北海道から出させていただきたい)
- ・クロスカントリー選手はワックスルームの確保を図るため一つのホテルに集約させたい(どうしてもアルペンと一緒にとの要望があれば、早めに連絡をもらい対応する)
- ・80歳並びに90歳の出場者を開催地の負担で表彰する

3 SAJ マスターズ大会のマテリアル(スキー、ヘルメット)対応について

2017/2018FIS マスターズ大会マテリアルルールを適用する

(1) スキー:以下の長さで最小ラディウスが推奨される

ただし、スーパー G のみ最小スキー長が必須

SL=男子 165cm 女子 155cm、GS=男子 180cm以上 R27、女子 175cm以上 R23

スーパー G=男子 185cm以上(必須) R27、女子 180cm以上 R23

(全種目において男子 65 歳以上、女子 55 歳以上には長さ、ラディウスの制限の適用なし)

(2) ヘルメット:FIS 規格を推奨

2016/2017 から女子55歳・男子65歳以下について FIS 規格の着用を義務としていたが、

2017/2018FIS マスターズ大会マテリアルルールにおいてはその部分が明記されておらず、

今シーズンは着用の義務を見合わせ、推奨とする

(マスターズ以外の SAJ 公認大会は着用が義務)

4 SAJ マスターズポイントリスト有効期間設定について

全日本マスターズ大会において、直近の大会までのポイントを反映させるということから、プログラム作成(印刷)に間に合う段階のポイントリストを使用する
なおポイントリストは、No.1 が7月中、No.2 は秋口に発行予定

5 世界 FIS マスターズ大会の推薦基準について

FIS マスターズ世界大会への参加希望者が増加傾向にあり、FIS が各国の参加人数に制限をかけざるを得ない状況になってきている。そのため、今年の推薦基準に加えて、FIS マスターズポイント〇〇点以内とか、技術の高い選手を推薦していく方向性を検討していき、秋季委員会で結論を出したい。また、高齢者の安全確保を図る観点から、80歳を超える選手にはサポートのできる方(選手同士であっても構わない)の同行を条件にすることなども検討する

・FIS マスターズポイント案:いずれかの種目で 800 点以内

6 FIS マスターズ大会について(日本開催地からの提案:福田氏)

東京都連で開催しているが、今後どういう改善をしていけばいいのか以下を検討していきたい。

- ・マスターズの特異性を鑑み、ドローのガイドラインを定めたい
 - ・エントリーの締め切りは FIS マスターズルールにある推奨期限に沿って、最初のレースの7日前までとしたい(24時間前としない)

7 その他

- ・B 級大会の TD 指名の方法について

それぞれのブロックで検討後、マスターズ委員長に報告し、秋季委員会で確認

- ・今後の全日本マスターズ大会の開催立候補地

第43回(2019)群馬県片品村(複数年の開催も検討)

第44回(2020)秋田県仙北市

- ・マスターズ SL のミニマムの設定の検討

現行ルール上、A と B が逆転したり、1位の選手は大会参加がなくても1位のままだったりと、不都合があり修正が必要。板倉委員を中心に検討し秋季委員会に報告してもらう

(その他意見及び報告)

- ・国内 FIS レースが現行1レースのためポイントが取りづらい。もっとレースを増せないか
(国内に FIS の TD が不足している現状にある)
- ・山形県米沢市で B 級大会の開催を検討中
- ・全日本マスターズの開催時期を毎年3月の第1週または第2週などと固定してほしい。仕事のある選手が参加の計画を立てやすくなる
- ・例年、世界大会は3月第3週の開催だが、2018年のアメリカ世界大会は2月の最終週か3月第1週が予定されている。なお、2019年の世界マスターズはフランスメジェーブにて3月11日から16日の開催が計画されている情報が入っている

閉 会

(作成者 東北ブロック出席者 青森県 高坂 寿)